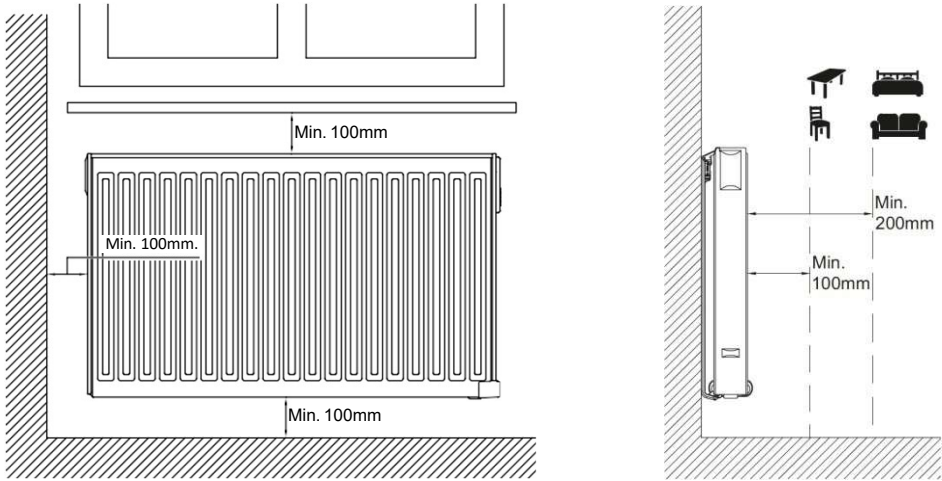


YALI COMFORT

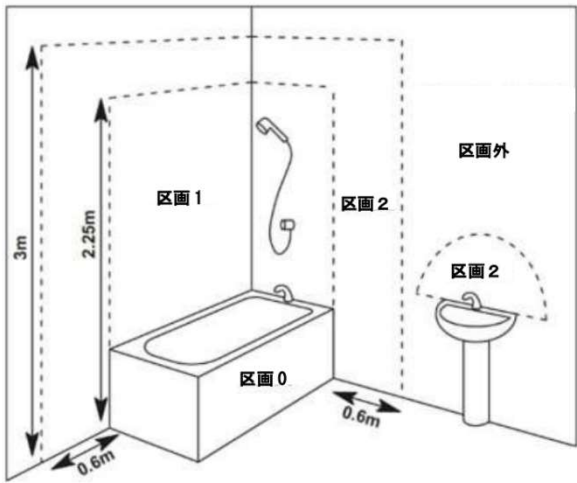
- 取付方法 & 操作説明書
進化した革命的なラジエーター
200 V – 50 Hz



1



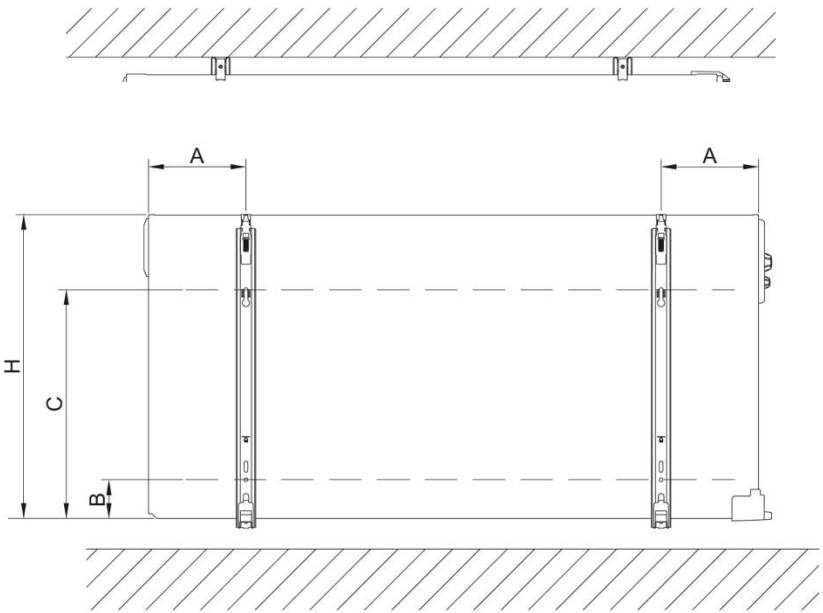
2



3A

シングルパネルラジエーター

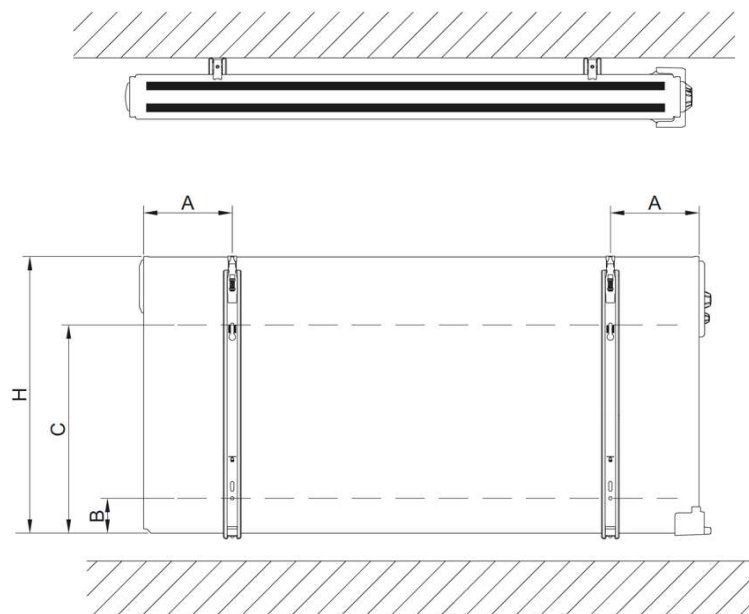
H (mm)	A (mm)	B (mm)	C (mm)
300	100-150	37	173
500	100-150	37	373



3B

ダブルパネルラジエーター

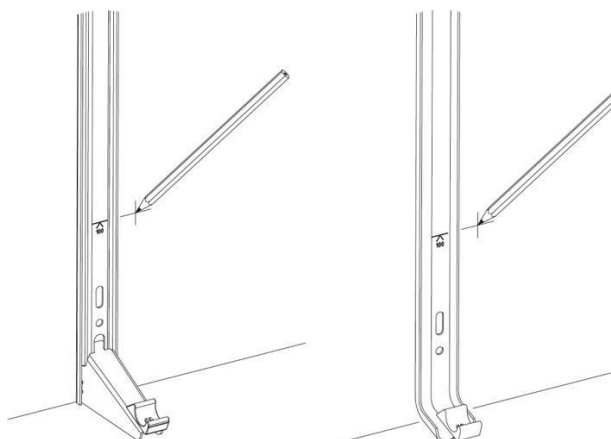
H (mm)	A (mm)	B (mm)	C (mm)
300	100-150	46	173
500	100-150	46	373



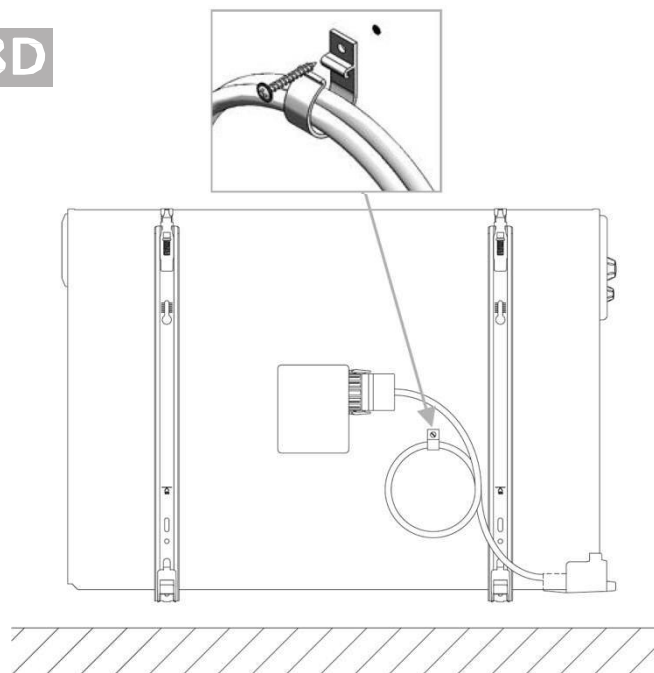
3C

シングルパネル

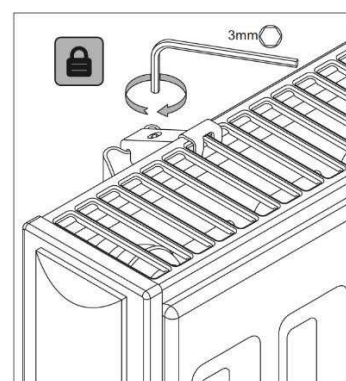
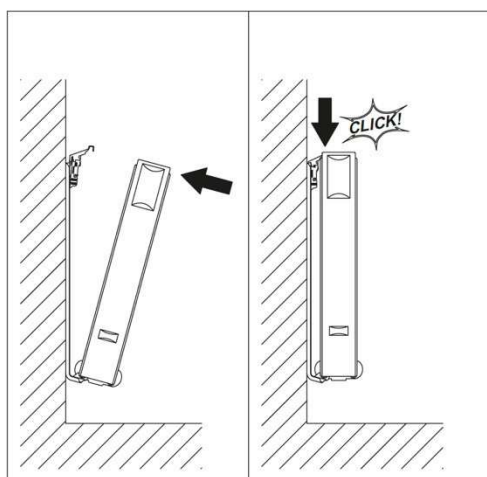
ダブルパネル



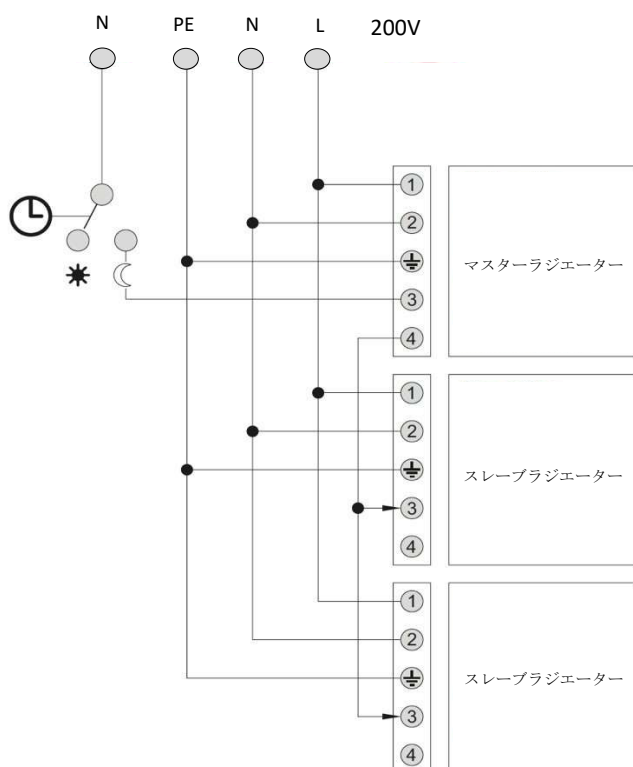
3D



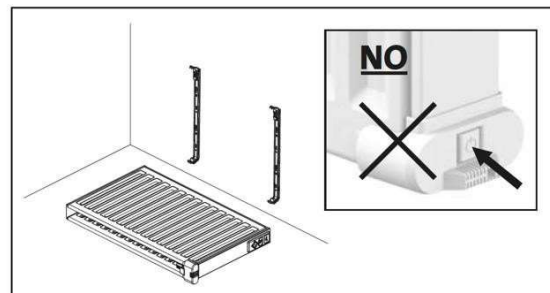
3E



4A



4B



5



● 使用上の注意

安全規格EN 60335により、次のことが、ラジエーターに限らずすべての電気製品に義務付けられています。

本製品は、8歳未満のお子様にはご使用いただけません。身体的、感覚的、精神的能力の低下が見られる方、また知識や経験のない方は、本製品の安全な使用について監督または指示を受け、危険を理解した上でご使用いただけます。お子様が本製品で遊ばないようにご注意ください。8歳以上のお子様は、保護者の方の監督の元、本製品の清掃やメンテナンスを行っていただけます。

お子様が8歳未満の場合、本製品や配線にお子様が触れないようご注意ください。お子様が3歳未満の場合、本製品の近くにいる間は目を離さないようにしてください。3歳以上8歳未満のお子様は、本製品が通常の作動位置に設置され、本製品の安全な使用について監督または指示が与えられ、それを理解している場合にのみ、本製品の電源オン/オフを行っていただけます。ただし、プラグを差し込んだり、調整、清掃、メンテナンスなどを行ったりしてはいけません。



● 注意事項

本製品の一部は高温になることがあり、火傷の原因となる可能性があります。お子様や高齢者のいる場所では、特にご注意ください。過熱を避けるため、ラジエーターを覆わないでください。例えば、ラジエーターに直接衣類を置いて乾燥させたりしてはいけません。



● WEEE指令に基づく廃棄物処理（2002/96/EC）

製品ラベルのマーク表示のとおり、製品は家庭ごみとしては扱われないものの、個別に分類が必要です。製品が耐用年数を迎えたとき、製品は電気や電気製品の収集施設に戻さなければいけません。これにより、製品が通常のごみとして廃棄された場合に、環境や健康に及ぼす悪影響を防ぐことが可能です。製品のリサイクルおよび収集にあたっては、地方自治体までご相談いただき、収集サービスや製品を購入した業者によるサービスを受けないようにしてください。これは、当指令を批准している国において適用されます。

1. 基本情報

- 本製品は、壁に固定して設置するよう設計された、密閉式電気ラジエーターです。
- 本製品は、EN規格 EN 60 335-1およびEN60 335-2-30に準拠しています。
- 本製品は絶縁クラス I、標準接続ボックスと併用する場合は電気保護等級 IP21、標準接続ボックスおよび防滴カバー（別売）と併用、または2ピンのF型プラグを取り付ける場合は電気保護等級IP44を備えています。
- 電気ラジエーターは、欧州指令 2014/30/EU（すべての電気製品に係るCEマーク）に準拠しています。
- 本製品には、壁掛けブラケットとネジが付属します。
- YALI C Cには、5極コネクタと接続ボックスを備えた接続ケーブルが付属します。

2. 取付け

設置

- ラジエーターを正しく機能させるため、水平に設置してください。
- ラジエーターの設置にあたっては、該当する規格に従ってください。また、図1に指定した最低限の距離を取るよう、特にご注意ください。
- ラジエーターは、標準接続ボックスと併用する場合はゾーン2の「外側」、接続ボックスに防滴カバーが付いている場合は、操作制御装置（ボタン、スイッチなど）が浴槽内やシャワー下など、人の手の届くところがない場合に限りゾーン2の内側に設置が可能です（図2）。
- ラジエーターは、付属の壁掛けブラケットを使用して壁に固定する必要があります。
- ラジエーターをコンセントの下に設置しないでください。

固定

- 図3A（シングルパネルの場合）または3B（ダブルパネルの場合）の表に示すように、ブラケット間の距離とネジ穴の位置に印を付けます。3番目のブラケットを製品の中央に取り付ける必要があるため、2,000mm長の製品には追加のブラケットが付属します。
- ブラケットを使用して、下部の固定穴の高さを測定できます。図3Cを参照してください。
- ラジエーターを正しく設置するには、正しい目的での使用と予測できる誤用に対応した方法で、ラジエーターを固定することが必須です。ラジエーターの固定方法、壁の種類や状態、その他掛かりうる力や重さなど、いくつかの要素を考慮する必要があります。
- 付属の固定材は、無垢材、レンガ、コンクリート、または木材に直接固定する木造壁のみが対象です。壁の仕上げは、最大3mmまでとしてください。中空レンガなど、他の材料で作られた壁への設置については、設置業者または専門業者にご相談ください。

いずれの場合も、適切な資格のある専門の設置業者または取扱業者による設置を推奨します。

接続

- 電気設備は、地域または国の規制に準拠する必要があります。
- ラジエーターの接続は、適切な資格のある電気技師により行ってください。
- ラジエーターの接続においては、図4Aの配線図を参照してください。
- ラジエーターは、機器に付属の電源ケーブルを使用して電源に接続してください。
- ラジエーターをバスルームまたはシャワールームに設置する場合は、定格残留電流が30mAを超えない漏電遮断器（RCD）で保護する必要があります。

ラジエーターは、過熱した場合に作動する、非再用型の過熱保護装置を備えています。ラジエーターを壁掛けブラケットから取り外す場合は、例え短時間であっても、必ず電源を切ってください（図4Bを参照してください）。これにより、過熱保護装置が作動する可能性もあります。作動した場合は、温度ヒューズを交換する必要がありますので、販売者までご連絡ください。

3. 操作

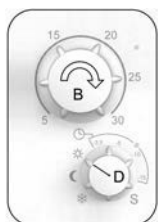
- 電源ボタンは、ラジエーターの制御側下部にあります（図5・F）。ラジエーターが正しく取付けられ、壁掛けブラケットに固定されていることを確認してから、ラジエーターの電源を入れてください。ラジエーターの電源を入れると、LED（図5・C）がオレンジ色に点滅し、その後LED（図5・A）が設定温度に応じて緑色または赤色に変わります。

スタンドアローンラジエーター

- ダイヤル「D」（図5）を使用して、次の操作モードのいずれかを選択します。

コンフォートモード ☀

通常の運転時に選択します。

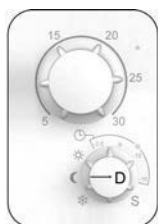


コンフォートモード

- 太陽のマークのところにダイヤル「D」を合わせます。
- ダイヤル「B」を使用して、5～30°Cの間で室温を設定します。

おやすみモード 🌙

夜間や、家を数時間空けるときに選択します。室温を「コンフォートモード」の設定温度から3.5°C下げます。

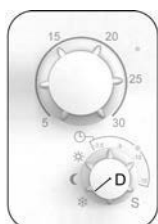


おやすみモード

- 月のマークのところにダイヤル「D」を合わせます。

フロスト防止モード ❄

家を長期間空けるときに使用します。室温を7°Cに維持します。



フロスト防止モード

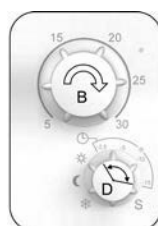
- 雪の結晶のマークのところにダイヤル「D」を合わせます。

ラジエーターを中央プログラマーに接続する場合

- 中央プログラマーに接続している場合（写真4A）、自動モードを選択します。

自動モード ⌚

- 家を（休暇などで）長期間空ける場合は、ダイヤル「D」を「おやすみ」または「フロスト防止」モードに回して、時計プログラムを上書きできます。

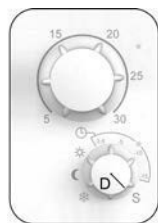


自動モード

- ダイヤル「B」を使用して、通常運転時の室温を5～30°Cの間で設定します。
- マークの付いた範囲内で、ダイヤル「D」を回します。夜間または不在の期間中、ラジエーターはダイヤルの指す数字の分だけ、室温を下げます。

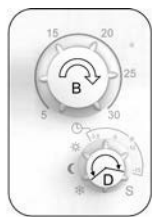
ラジエーターをマスタースレーブ制御で接続する場合

- 部屋にラジエーターが複数設置されている場合、そのうちの1つを「マスター」として選択し、他のラジエーターを「スレーブ」として機能させることができます。スレーブラジエーターは、マスターラジエーターからの指示に従い加熱を行います。
- この設定には適切な配線が必要です（写真4A）
注：マスター/スレーブグループのすべてのラジエーターは、ピン1の同じ相に接続する必要があります。



スレーブモード

- スレーブとして操作するラジエーターで、Sのところにダイヤル「D」を合わせます。



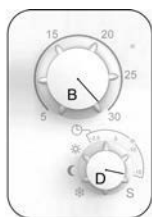
マスター設定

- 太陽、月、星、時計のいずれかにダイヤルを合わせます。

- LVIの旧製品を、本製品のマスターまたはスレーブとして接続しないでください。
- 最大10台のスレーブを接続できます。

ラジエーターを外部サーモスタットまたはBMSに接続する場合

- 室温を制御する外部サーモスタットを使用する場合は、ダイヤルBのコンフォートモード室温設定（図5）を「30」に合わせ、ダイヤルD（図5）のおやすみモード室温設定を「-15」に合わせます。図4Aに従ってラジエーターを接続します。ラジエーターが熱を放出するときにピン3が開き、熱を放出しないときにニュートラルに接続するようにしてください。



注：
この場合、ラジエーターはマスターとして接続する必要があります。

注：
外部サーモスタットをピン1または2に直接接続しないでください。ラジエーターの寿命が短くなります。

その他の機能

- 制御盤下部にあるスイッチ（図5・E）で、フロントパネルの発熱体の出力（表面温度）を制限できます。



ラジエーターを常に最大出力（60°Cまたは75°C）で使用した場合、次の補正係数を出力に適用する必要があります。

スイッチE	表面温度	シングルパネル	ダブルパネル
	60°C max	~0.55	~0.80
	75°C max	~0.70	~0.90
	90°C max	1	1

- 例) 1,000ワットのシングルパネルの場合、スイッチE が75° Cの位置では700ワット相当、ダブルパネルの場合はスイッチEが60° Cの位置では800ワット相当の電力消費となります。計算上の熱損失をカバーするパネルの数と種類を選択するときは、これらの値を考慮する必要があります。
- 2つのLEDインジケーター（図5・AおよびC）は、ラジエーターの操作モードを示します。

LED A	
緑	ラジエーターの電源ON
赤	ラジエーター加熱中
赤点滅	センサー異常
LED C（外部プログラマー接続時のみ）	
OFF	コンフォートモード
緑点滅（4回点滅→一時停止→4回点滅の繰り返し）	おやすみモード

4. メンテナンス、修理、廃棄

- 警告：メンテナンス作業を行う前に、必ず電源を切ってください。
- 製品は、湿らせた柔らかい布で拭き上げてください。薬品や研磨剤は、表面仕上げを傷つけるため使用しないでください。
- ラジエーターは、非再用型の過熱保護装置（メルトヒューズ）を備えています。ラジエーターが過熱されると（ラジエーターが覆われている場合など）、電流を遮断します。
- 付属のコードが損傷している場合は、安全のため、製造元、サービス代理店、または同様の資格のある人が交換する必要があります。
- ラジエーターには、正確な量の環境に優しい植物油が充填されています。そのため、ラジエーターを開く必要のある修理は、製造元または承認を得た代理店のみが行うものとします。
- 漏れが発生した場合は、メーカーまたはサービス代理店までご連絡ください。
- ラジエーターが耐用年数を迎えたときは、オイルの廃棄に関する規制に従ってください。

5. 保証

本製品は、2年保証の対象となる電気および電子部品を除き、10年間の保証の対象となります。

6. 技術仕様

環境： - 運転温度 - 輸送/保管温度	-30℃～+50℃ -30℃～+70℃
温度設定幅： - コンフォートモード - おやすみモード - フロスト防止モード	+5℃～+30℃ -3.5℃～-15℃の間で温度抑制 +7℃
電気絶縁性能	クラス I
電気保護等級	- 標準接続ボックスと併用した場合：IP21 - 防滴カバー付き接続ボックスと併用した場合：IP44
電源	200VAC - 50Hz（製品定格表示による）
規格基準：本製品は、右の指令および規格に準拠して設計されています。	• EN 60730-1 • EN 60335-1 • EN 60335-2-30 • EN 62233 • EN 55014-1 • EN 55014-2 • EN 61000-3-2 • EN 61000-3-3 • EN 60529 • LV指令 2014/35/EU • EMC指令 2014/30/EU • RoHS指令 2011/65/EU